

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年12月18日(2024.12.18)

【公開番号】特開2024-58182(P2024-58182A)
 【公開日】令和6年4月25日(2024.4.25)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-077
 【出願番号】特願2022-165389(P2022-165389)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 6 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

F 2 4 C 7 / 0 4 (2 0 2 1 . 0 1)

【 F I 】

H 0 5 B 6 / 1 2 3 1 3

F 2 4 C 7 / 0 4 3 0 1 Z

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月10日(2024.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被加熱物を加熱する複数の加熱手段と、
 前記加熱手段の設定を行う入力操作部と、
 外部と通信するための通信部と、
 前記通信部を介して取得したレシピデータに従って、前記加熱手段を制御する制御装置と、

30

を備え、

前記入力操作部には、前記通信部経由で特定の調理メニューに対応した設定情報を取得することを決定するための特定入力キーを有し、

前記特定入力キーは、特定条件を満たしている期間中、入力操作された場合に前記設定情報の取得が可能となること、を特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

前記制御装置は、前記入力操作部の操作形態に応じて音声入力モードに設定され、

取得した前記設定情報の中の制御条件は、前記音声入力モードにおいて音声による入力に変更できること、を特徴とする請求項1に記載の加熱調理器。

【請求項3】

入力操作部と、通信部と、を有した加熱調理器と、

40

前記加熱調理器と無線通信で接続される通信端末と、

前記加熱調理器及び前記通信端末の両者とネットワークを介して接続されるサーバーと、

を含み、

前記通信端末は、

(1) 端末側表示部において、第1画面と、第2画面と、を順次表示し、

(2) 前記第1画面には、前記サーバーから取得した特定の被調理物に関するレシピデータを表示し、

(3) 前記第1画面に表示された前記レシピデータを選択した場合、前記第2画面に、表示を切り替え、

50

(4) 前記第2画面には、前記レシピデータの設定情報を送信できる入力キーを表示し

、
(5) 前記入力キーが操作されると、前記設定情報を前記加熱調理器に送信することが可能となり、

前記加熱調理器には、前記通信部経由で前記設定情報の取得を決定する特定入力キーを有し、

前記特定入力キーは、前記通信端末又は前記サーバーから通知を受けた以降の制限時間内に操作した場合、前記設定情報の取得を決定する選択情報の発信ができること、

を特徴とする加熱調理システム。

【請求項4】

前記設定情報は、調理工程1に対応した設定情報Aと調理工程2に対応した設定情報Bと、を含み、

前記第1画面には、前記調理工程1に関する情報を表示した第1表示部分と、前記調理工程2に関する情報を表示した第2表示部分とを、表示し、

前記第1表示部分と前記第2表示部分をそれぞれ選択すると、前記設定情報Aと前記設定情報Bを送信できる、前記第2画面に表示が切り替わること、を特徴とする請求項3に記載の加熱調理システム。

【請求項5】

被加熱物を加熱する複数の加熱手段と、

前記加熱手段の設定を行う入力操作部と、

外部と無線通信するための通信部と、

前記通信部を介して取得した前記レシピデータに従って、前記加熱手段を制御する制御装置と、

記憶手段と、を備え、

前記入力操作部には、前記通信部経由で前記外部通信機器から特定の調理メニューに対応した設定情報の取得を決定する特定入力キーを有し、

前記記憶装置には、複数の基本メニューを実行する設定情報Xが記憶されており、

前記特定入力キーは、特定条件を満たした場合に入力操作すると、前記通信部経由で追加メニューを実行するための設定情報Yが取得可能となり、

前記記憶装置は、前記設定情報Yを保存できること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項6】

第1の加熱手段と第2の加熱手段を有する加熱手段と、

ユーザーの指令を受ける入力操作部と、

外部から調理条件データを受信する通信部と、

調理の情報を表示する表示部と、

記憶装置と、

前記入力操作部からの指令を受ける制御装置と、を備え、

前記入力操作部は、前記第1の加熱手段のための第1操作部と、前記第2の加熱手段のための第2操作部と、を有し、

前記第1操作部には、前記第1の加熱手段を使用した調理メニューを選択する第1特定入力キーを有し、

前記第2操作部には、前記第2の加熱手段を使用した調理メニューを選択する第2特定入力キーを有し、

前記制御装置は、前記第1特定入力キー又は前記第2特定入力キーを使用して選択する基本メニューを、前記記憶装置に記憶させてある内蔵プログラムに基づいて実行する機能を有し、

前記制御装置は、前記通信部から取得したレシピデータに基づいて追加メニュー実行する機能を有し、

前記レシピデータは、前記第1の加熱手段と前記第2の加熱手段の何れか1つを使用す

10

20

30

40

50

る調理工程 1 の設定情報 A と、前記第 1 の加熱手段と前記第 2 の加熱手段の他方を使用する調理工程 2 の設定情報 B と、を含み、

前記設定情報 A の取得は、特定条件を満たしている期間中、前記追加メニューに対応している前記第 1 特定入力キー又は前記第 2 特定入力キーの何れか一方が操作された場合に許可され、

前記設定情報 B の取得は、前記特定条件を満たしている期間中、前記追加メニューに対応している前記第 1 特定入力キー又は前記第 2 特定入力キーの他方が操作された場合に許可されること、を特徴とする加熱調理器。

【請求項 7】

前記レシピデータによる工程は、調理工程 1 と、加熱休止期間又は調理中断期間と、調理工程 2 とを含み、

前記加熱休止期間又は前記調理中断期間において、前記特定入力キーを操作した場合、前記設定情報 B を取得すること、を特徴とする請求項 6 に記載の加熱調理器。

【請求項 8】

加熱手段を内蔵した第 1 ユニットと、

前記第 1 ユニットに載置された状態で、前記加熱手段によって加熱可能な第 2 ユニットと、を備え、

前記第 1 ユニットには、前記加熱手段を制御する主制御装置と、外部と無線通信を行う通信部と、前記第 2 ユニットを載置した第 1 の状態で入力操作が可能な第 1 操作部と、を具備し、

前記第 2 ユニットには、前記第 1 ユニットに載置された状態で入力操作が可能な第 2 操作部と副制御装置と、を具備し、

前記主制御装置は、前記通信部を介して、多重加熱調理モードのレシピデータを取得する機能を有し、

前記レシピデータは、調理工程 1 に係る設定情報 A と調理工程 2 に係る設定情報 B とを、それぞれ含み、

前記調理工程 1 と前記調理工程 2 の間には、調理中断期間を有し、

前記第 1 操作部と前記第 2 操作部は、特定入力キーを有し、

前記設定情報 A と前記設定情報 B の、少なくとも何れか一方は、前記特定入力キーが、特定条件を満たしている期間中に入力操作された場合に取得が可能となること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 9】

加熱手段を内蔵した第 1 ユニットと、

前記第 1 ユニットに載置された状態で、前記加熱手段によって加熱可能な第 2 ユニットと、を備え、

前記第 1 ユニットには、前記加熱手段を制御する主制御装置と、外部と無線通信を行う通信部と、前記第 2 ユニットを載置しない第 2 の状態で入力操作が可能な第 1 操作部と、を具備し、

前記第 2 ユニットには、前記第 1 ユニットに載置された状態で入力操作が可能な第 2 操作部と副制御装置と、を具備し、

前記主制御装置は、前記通信部を介して、多重加熱調理モードのレシピデータを取得する機能を有し、

前記レシピデータは、調理工程 1 に係る設定情報 A と調理工程 2 に係る設定情報 B とを、それぞれ含み、

前記調理工程 1 と前記調理工程 2 の間には、調理中断期間を有し、

前記第 1 操作部と前記第 2 操作部は、特定入力キーを有し、

前記設定情報 A と前記設定情報 B の、少なくとも何れか一方は、前記特定入力キーが、特定条件を満たした場合に取得が可能となること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 10】

10

20

30

40

50

タッチ入力機能を有する入力操作部と、
外部と無線通信する通信部と、
表示部を有した報知手段と、
前記通信部を介して取得したレシピデータを使用して調理を実行する制御装置と、を有し、

前記制御装置は、

(1) 前記通信部を介して外部と通信状態を確立した状態において、前記表示部にタッチ入力式の特定入力キーを表示し、

(2) 前記特定入力キーが操作されたかどうかを判定し、操作された場合、選択情報を発信し、

特定条件を満たしている期間中、前記特定入力キーが入力操作された場合に前記選択情報の発信を許可し、前記レシピデータの取得が可能となること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 1 1】

前記制御装置は、

(1) 前記通信部を介して外部と通信状態を確立した状態において、前記特定入力キーの操作に関する操作支援情報を、前記表示部において本体画面 1 の形態で表示し、

(2) 前記特定入力キーによる操作を受け付けた場合、前記選択情報を前記通信部から発信し、前記表示部に表示される前記本体画面 1 を、前記レシピデータの受信待機中を示す本体画面 2 の形態に切り替えること、を特徴とする請求項 1 0 に記載の加熱調理器。

【請求項 1 2】

第 1 の加熱手段の第 1 操作部と第 2 の加熱手段の第 2 操作部とからの指令を、それぞれ受け付ける制御装置を備え、

前記制御装置は、タッチ入力モードと音声入力モードの 2 つの入力機能を有し、

前記第 1 操作部と前記第 2 操作部には、前記音声入力モードを設定できる入力キーと、特定入力キー、をそれぞれ有し、

前記制御装置は、前記第 1 操作部の前記入力キーによって前記音声入力モードに切り替えたときに開始される禁止期間中、前記第 2 操作部による前記音声入力モードへの切り替えを制限し、

前記制御装置は、調理工程 1 と調理工程 2 を実行する 1 つの調理メニューのレシピデータを外部から取得する場合、前記特定入力キーの操作に応じて、前記調理工程 1 と前記調理工程 2 の設定情報を順次取得すること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 1 3】

第 1 の加熱口で被加熱物を加熱する第 1 加熱源と、

前記第 1 の加熱口と別の場所にある第 2 の加熱口で被加熱物を加熱する第 2 加熱源と、

前記第 1 加熱源の個別操作部 A と、

前記第 2 加熱源の個別操作部 B と、

前記個別操作部 A と前記個別操作部 B からの指令を受ける制御装置と、を備え、

前記制御装置は、タッチ入力モードと音声入力モードの 2 つの入力機能を有し、

前記個別操作部 A には、第 1 入力キー A と、特定入力キー A を有し、

前記個別操作部 B には、第 2 入力キー B と、特定入力キー B を有し、

前記第 1 入力キー A と前記第 2 入力キー B の、それぞれの操作状態に応じて前記音声入力モードに切り替えられ、

前記制御装置は、前記第 1 入力キー A によって前記音声入力モードに切り替えた場合、加熱調理工程に移行するまでの禁止期間中は、前記第 2 入力キー B による前記音声入力モードへの切り替えを受け付けず、

前記制御装置は、調理工程 1 と調理工程 2 を実行する 1 つの調理メニューのレシピデータを外部から取得する場合、前記特定入力キー A と前記特定入力キー B の操作に応じて、前記調理工程 1 と前記調理工程 2 の設定情報を順次取得すること、

を特徴とする加熱調理器。

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 14】

複数の加熱手段と、

前記加熱手段の入力操作部と、

外部からレシピデータを受信する通信部と、

前記入力操作部からの指令を受ける制御装置と、を備え、

前記入力操作部には、前記レシピデータを取得することを決定する特定入力キーを有し

、
前記入力操作部には、前記レシピデータを使用しないマニュアル入力モードを選択する
入力キーを有し、

10

前記特定入力キーを操作して前記レシピデータを取得した場合、当該レシピデータによ
る調理工程が開始される前の段階で、前記マニュアル入力モードを選択する前記入力キー
を操作すれば、前記マニュアル入力モードに変更できること、

を特徴とする加熱調理器。

【請求項 15】

前記加熱手段は、第 1 の加熱手段と、第 2 の加熱手段とを有し、

前記入力操作部は、前記第 1 の加熱手段用の第 1 操作部と、前記第 2 の加熱手段用の第
2 操作部と、を備え、

前記第 1 操作部と、前記第 2 操作部には、音声入力モードを設定できる入力キーを、そ
れぞれ有し、

20

前記制御装置は、前記第 1 操作部の前記入力キーにより前記音声入力モードに切り替え
た場合、前記調理工程が開始されるまでの禁止期間中は、前記第 2 操作部における前記入
力キーによる前記音声入力モードへの選択を受け付けないこと、を特徴とする請求項 10
2 に記載の加熱調理器。

30

40

50